

日本結核病学会東海支部学会

—— 第112回総会演説抄録 ——

平成20年11月23・24日 於 じゅうろくプラザ（岐阜市文化産業交流センター）（岐阜市）

（第94回日本呼吸器学会東海地方学会と合同開催）

会 長 加 藤 達 雄（国立病院機構長良医療センター呼吸器科）

—— 一 般 演 題 ——

1. 当院医師および看護師の結核感染状況について

°吉田正道・都丸敦史・藤原研太郎・浦和昌史・大西真裕・丸山貴也・中原博紀・油田尚総（三重県立総合医療センター呼吸器内）田口 修（三重大医附属病呼吸器内）

当院は結核病床をもたない441床の地域基幹病院であ

る。2007年から接触者検診にQFT-2Gを導入し、2008年にQFT未検の職員を対象にQFT検査を施行した。その結果、医師は74名中3名（4.1%）が陽性で、看護師は386名中7名（1.8%）が陽性であった。ツ反が強陽性を指摘されていた看護師30名のうち29名はQFT陰性で、ツ反は検診には有用ではないと考えた。